

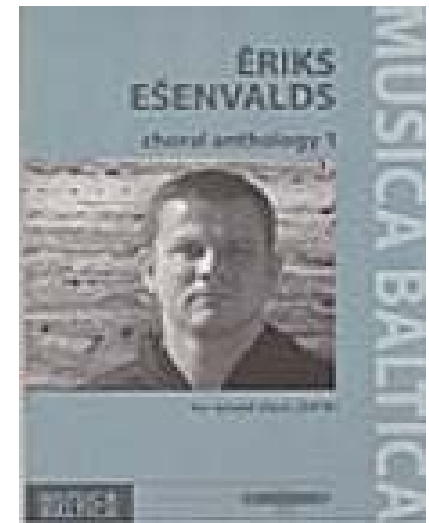
## エリクス・エセンヴァルズ (Ēriks Ešenvalds)

テノール 田井 誠人

出版社 (Musica Baltica) のHPに、エセンバルズさんの来歴やキャリアについてまとめられていたので、そちらの翻訳を載せています。

(Wikipedia の日本語版もこちらの和訳でした)

出典：<https://www.musicabaltica.com/en/composers-and-authors/eriks-esenvalds/>



ĒriksEšenvalds は、1977年1月26日にラトビアのプリークレで生まれました。

ĒriksEšenvalds は、今日最も人気のある作曲家の1人で、多くの委嘱のスケジュールを抱えており、彼の音楽作品はあらゆる大陸で聞かれています。1977年にラトビアのプリークレで生まれ、ラトビアバプテスト神学校（1995-97）で学び、セルガメンセの指導の下でラトビア音楽アカデミーで作曲の修士号（2004）を取得しました。彼はマイケル・フィニッシー、クラウス・フーバー、フィリップ・マヌーリー、ジョナサン・ハーベイなどマスターコースを受講しました。2002～2011年まで、彼はラトビア州合唱団のメンバーでした。2011年、彼は ケンブリッジ大学トリニティカレッジ にて、2年間のクリエイティブアーツのフェローコモンラーの地位を授与されました。彼は結婚していて、4人の子供がおり、ラトビア音楽アカデミーの作曲教師として、学生たちに専門知識を授けています。

ĒriksEšenvalds は、ラトビアのグランドミュージックアワードを3回（2005、2007、2015年）含む複数の賞を受賞しています。International Rostrum of Composers は、彼の作品 *「The Legend of the Walled-in Woman」* で2006年に一等賞を受賞しました。彼は2010年にフィラデルフィア・インクワイアラーの新人作曲賞を受賞しました。

ĒriksEšenvalds の作曲は、ボストン交響楽団、バーミンガム市交響楽団、ユタ交響楽団、ブリテンシンフォニア、ザキングスシンガーズ、ラトビアの声、トリニティカレッジ聖歌隊、ホルストシンガーズ、イモジェンヒープ、ポリフォニー、オックスフォード・マートン大学合唱団、ラトビア放送合唱団、ラトヴィア州合唱団、カミール青少年合唱団、シンフォニエッタ・リガ、バイエルン放送合唱団、ラトビア国立交響楽団、ラトビア国立オペラバレエ、リエパヤ交響楽団、オラ・シンガーズ、ナショナル英国青年合唱団、オランダ国立児童合唱団、深センリリー合唱団、ニュージーランド青年合唱団、スウェーデン芸術ボーカルアンサンブル、メルボルントリニティカレッジ合唱団、ソルトレイクボーカルアーティスト、テンプル大学コンサート合唱団、クロッシング、チョーレオーニ、ゴールデンゲートメンズコーラス、ポートランド州立大学室内合唱団、タコマのパシフィックルーテル大学の合唱団、チョーパークルール、コルヴィヴァルディ、ルイビル大学枢機 S 歌手、エールグリークラブ、マイアミ大学男子グリークラブ、ミシシッピ大学コンサート歌手、リンカーンのイン合唱団、ワートバーグカレッジ合唱団、オクラホマ州立大学コンサートコーラル、クラシックムーブメント、セントルイス室内合唱団、ルイビル大学歌手枢機 inal、カブリロ合唱団、モントレイ室内管弦楽団などのアンサンブルによって初演されました。彼はクリスタルベア賞を受賞した映画 *「Mellow Mud」* のスコアも作曲しました。

ĒriksEšenvalds の音楽は、数々の国際的な合唱イベントで演奏されてきました。

オーストリアのクランスプール合唱祭、ドイツのシュレースヴィヒホルシュタイン音楽祭 (Schleswig-Holstein Musik Festival)、フランスの Tenso Days、オランダの Haarlem Choir Biennale、ラトビアの International Sacred Music Festival、the World Choir Games、IFCM 世界合唱音楽シンポジウム、イギリスのチェルトナム音楽祭や Voices Now、アメリカの ACDA National and Regional Conferences とスポレート祭、カナダの The Singing Network など。

ĒriksEšenvalds は人気のある講演者でもあり、自身の音楽に関するワークショップを主催している。リガで開催された 2014 World Choir Games では、オリンピックアンセムを作曲し、彼の作品についての講演を行い、コンペティションの審査員を務め、the Latvian Voices と The King' s Singers によって大規模なプロダクション (?) が初演されました。ソルトレイクシティで開催された 2015 年の ACDA 全国会議で は、プレーリーウィンドのささやきを初演しました。、彼はまた彼の音楽に

ついてプレゼンテーションを行い、作曲家の円卓フォーラムに参加しました。彼は、バルセロナの合唱音楽に関する 2017 IFCM World Symposium、オークランドの Choral Connect 2017、およびカナダのセントジョンズでの Singing Network International Symposium 2015 のスピーカーでした。彼は、ローマの聖音楽協会で開催された 2017 Musica Sacra Nova International Composers Competition、インドネシアのマナドで開催された Cantat International Choral Festival and Symposium 2017、および 2016 Rimini International Choral Competition で審査員を務めました。

Ēriks Ešenvalds の楽曲は、Hyperion、Decca Classics、Deutsche Grammophon、Delphian Records、Pentatone、Ondine、Naxos などのレーベルによってリリースされた数々の音源に登場します。現在までに、彼の作品だけを取り上げた音源は 7 つある。：

- ” *Northern Lights* ” ケンブリッジ大学トリニティ・カレッジ合唱団  
(グラモフォン賞ショートリスト、グラモフォン批評家推薦、ICI ラジオ・カナダベストアルバムセレクション)
- ” *Passion and Resurrection* ” the Britten Sinfonia and Polyphony
- ” *St Luke Passion* ” ラトビアラジオ合唱団とシンフォニエッタリガ  
(グラモフォンエディターズチョイス、オペラニュース評論家推薦)
- ” *The Doors of Heaven* ” ポートランド州立室内合唱団 (グラモフォンエディターズ推薦)
- ” *From the dim and distant past* ” ラトビア州立合唱団 (ラトビア 年間最優秀クラシック・アルバム)
- ” *At the Foot of the Sky* ” 同上
- ” *O Salutaris* ” the Kamēr... Youth Choir (ラトビア 年間最優秀クラシック・アルバム)

Ēriks Ešenvalds の作品は、[Musica Baltica](#) がグローバルパートナーシップとして、[エディションピーターズ](#) とともに、出版しています。

「優れた耳と刺激的な曲作りのコツを備えた、独創性あふれるラトビアの作曲家だ。」  
- ニューヨークタイムズ

「彼の作る合唱作品は、豊かで響き渡るもので、恒久的なエクスタシーのようだ。ソプラノは、クラスター和音の大きな波の上を航海するかのごとし。色彩的なビジョンを持っている。」  
- The Guardian

「エシェンバルドは、明確に、次の大きな音楽の神秘である。」  
-タイムズ

「エシェンバルドは、独自の路線ではなく、ウィテカーやシチェドリンなどと似た合唱の領域での作曲をしている、と自ら明言している」  
- BBC

「エッシュエンバルズ作曲の合唱曲の CD [Northern Lights] は、ラトビアの最高峰の現代合唱作曲家のと、若き英国の最高峰の聖歌隊が組んでおり、とてつもなく極度に美しい。」  
-Gramophone

「Ešenvalds は印象的な指示とさまざまな音楽言語を駆使します…」  
-Choir & Organ

「想像力と聴覚の魅力という点では、若いベンジャミン・ブリッテンのハルシオン時代以来のものです。」  
-The Oldie

## ケンブリッジ大学トリニティカレッジ合唱団について

### ケンブリッジ大学 (University of Cambridge)

イギリスの大学都市ケンブリッジに所在する総合大学であり、イギリス伝統のカレッジ制を特徴とする世界屈指の名門大学である。

ケンブリッジ大学は、31のカレッジから成るカレッジ制を採る。カレッジは「学寮」とも訳され、全ての学生は学部生・大学院生を問わず、1つのカレッジに所属する。学部生の入学者選抜はカレッジ毎に行われる。

学部生の教育は、伝統的にはカレッジで教員と学生の1対1で行われていた。カレッジによるこうした指導を「チュートリアル」と呼び、チュートリアルを施す教員を「チューター」と呼ぶ。現在ではチューターは生活面で学生の面倒を見る教員を指す。



### トリニティ・カレッジ (英: Trinity College) について

ケンブリッジ大学を構成するカレッジの一つ。ヘンリー8世によって1546年に創設された。2018年現在33人のノーベル賞受賞者や、フィールズ賞受賞者、アイザック・ニュートンなど数多くの著名人を輩出しているカレッジである。

学部生が656人と最も多い。(院生は380人で、他のカレッジにはより多くの院生が所属するカレッジもある)



## ケンブリッジ大学トリニティカレッジ合唱団について

The Cambridge of Trinity College Cambridge はグラモフォンマガジンの「20 Greatest Choirs」で世界で5番目に優れた合唱団に選ばれたことがあり、約30人の合唱奨学生と2人のオルガン奨学生で構成され、全員が大学の学生です。当カレッジの合唱の歴史は、元チャペルロイヤルの聖歌隊がキングズホールで学んだ後、トリニティカレッジの一部となった14世紀の男声合唱団にまでさかのぼります。音楽監督には、チャールズ・ヴィリエ・スタンフォード、アラン・グレイ、レイモンド・レパード、リチャード・マーローが含まれています。女声は、1980年代にケンブリッジ合唱音楽の新しい出発点であるリチャード・マーローによって導入されました。スティーブン・レイトンが2006年から音楽監督を務めています。



URL : <http://trinitycollegechoir.com/about/>

## Youtube 音源紹介

- Only in Sleep

URL : <https://www.youtube.com/watch?v=fvPynMI6Umc>

Youtube でのエシェンバルズさんの曲で再生数最多、TrinityCollegeChoir の演奏

- Long Road - Ēriks Ešenvalds

<https://youtu.be/-4vmUpGW1No>

多彩な楽器を使っている

- Northern Lights (E. Ešenvalds) Score Animation

<https://youtu.be/OoVGw05U--8>

ハープグラスを使っている

## 田井コメント

カレッジ制について、ハリーポッターの hogwarts 魔法学校を彷彿させますね！

なお、hogwarts のロケ地はオックスフォード大学だそうです。

海外の合唱イベント、Youtube でのダイジェストなど、とても楽しそうだなと思いました。

URL : <https://www.youtube.com/watch?v=z2AK7Dpiago>

エシェンバルズさんの個人 HP、とてもおしゃれです。

合唱作品だけで 30 作品以上、Youtube 掲載の音源があればリンクも貼られています。

URL : <https://www.eriksesenvalds.com/works#page=3&cat=1>